

地域おこし協力隊について 他

佐藤 秀行



〔質問〕地域おこし協力隊のこれまでの取り組みの成果と課題を伺う。

〔答弁〕まちづくり推進課長「白石産ササニシキ復活プロジェクトの支援や地場産品の販路拡大、移住交流サポートセンターにおける移住・定住関連業務に取り組んでいた。

人とのつながりや新しい視点による本市の魅力の再発見、活動は、財産として残っている。課題として、任用期間終了後の定住率が上がらないことが挙げられる。

〔質問〕シャッターアートのほか、主に閉店した店のシャッターに描くものであるが、他市では

発想を転換し、営業中の店に描いているものもある。

このような取り組みにより、アートの世界がさらなる広がりを見せ、地域の活性化にもつながれると考えることから、本市においても検討してはどうか。

〔答弁〕「市長」利活用、そして方法により、店舗や商店街の販路促進、まちの魅力向上につながると思われる。

シャッターの所有者や営業中の店舗、商店街などが主体的に取り組むことにより、持続的な地域振興が実現できると考えることから、そのような機運の高まりがあれば、市としてもサポートしていきたい。

◎学校給食について

〔質問〕学校給食、地場産品活用などについて、

児童・生徒、保護者の声を聞く手だて、方法はないのか伺う。

〔答弁〕「教育長」直接声を聞く仕組みは現在、構築されていないが、より良い給食を提供するために、児童・生徒や保護者の声を聞くことは重要である。

具体的な方法を、次の学校給食運営審議会で見解を伺う。

〔質問〕他市町の給食試食や運営状況などの視察を通し、学べる事があると思うが、見解を伺う。

〔答弁〕「教育長」他市町の学校給食の実施状況を把握することは、本市と比較し改善点を見いだすことができるなど、有意義な研修であると考えている。

視察などの結果、得た知見を本市の学校給食に携わる職員同士が情報を共有することで、さらに学校給食運営の向上が図られるものと考えている。

11月臨時会

第452回市議会臨時会が、令和3年11月26日に開かれ、市長提出議案5件の審議を行い、全会一致で原案のとおり承認・可決しました。各議案の内容は次のとおりです。

総額を17億3千683万1千円とするものです。

の一部を改正するものです。

〔白石市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例〕

〔白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例〕

〔白石市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例〕

なお、意見（賛否）が分かれた議案はありませんでした。

〔白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例〕

〔白石市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例〕

◎専決処分の承認を求めることについて（専決第17号）（令和3年度白石市一般会計補正予算）

〔白石市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例〕

〔白石市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例〕

この3条例は、社会経済情勢などから、民間給与との格差を解消するため、人事院勧告に準じて、条例で定める市議会議員および市長・副市長・教育長、一般職員の12月以降の期末手当の引き下げを行うため、条例

〔白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例〕

〔白石市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例〕

2月定例会は、2月17日(木) 午前10:00開会予定です

～ネット中継や録画映像の視聴もできます～

- 11月臨時会の傍聴者数 1人
- 12月定例会の傍聴者数 8人
- 中継・録画視聴者数 1,933人